

ヒト気管支肺胞洗浄細胞における免疫受容体の機能解析

研究代表：筑波大学医学医療系生命医科学域 免疫学 教授 渋谷 彰
研究実施分担者：筑波大学医学医療系臨床医学域 呼吸器内科学 教授 檜澤 伸之

①研究の対象

筑波大学附属病院において、採血、気管支肺胞洗浄検査を受けた呼吸器疾患の患者さまを対象として、診療後の残余試料と、病気に関する臨床情報を提供していただき、研究を行います。

なお、本研究は原則として包括同意「筑波大学附属病院における病理・細胞診標本の取り扱いに関する同意書」に同意していただいた患者さまが対象になります。ただし、下記の「本研究への利用お断り」の連絡先にお知らせいただいた方については、患者さまの検体は破棄することとし、試料や臨床情報を使用することはありません。

②研究の概要（意義と目的）

気管支肺胞洗浄液中に含まれる細胞を分析することは、あらゆる呼吸器疾患の成り立ちや悪化の原因、ひいては新たな治療法の開発に結びつきます。

血液や気管支肺胞の細胞は、「免疫受容体」というたんぱく質により、その機能が制御されており、我々は、免疫受容体を利用して特定の細胞機能を人為的にコントロールする新たな治療法を目指し、その基礎的な研究を行っております。そのため、たんぱく質のみならず、遺伝子を用いた研究に同意された患者様において、たんぱく質の基となる遺伝子までの解析を行います。但し、ヒトゲノムの多型解析は行いません。

③研究の方法

皆様からは、診断目的に行われる気管支鏡検査の際に得られる気管支肺胞洗浄液、あるいは血液について、包括同意書「筑波大学附属病院における病理・細胞診標本の取り扱いに関する同意書」にご同意をいただいたうえで、診療が終了したもの（残余試料）を提供していただき、解析を行います。

④研究による危険性について

診療に用いた後の残った検体について解析を行いますので、この研究のために危険性が増加することはありません。

⑤個人情報保護に関する配慮

今回、当研究にご協力頂いた後、皆様の氏名、プライバシーは厳密に守らせていただきます。もし、将来この研究によって得られたデータが公表される際にも、以上の事は人権擁護を踏まえて厳守させていただきます。

⑥研究結果の開示について

解析の対象となる「免疫受容体」は、現段階で不明な点が多いがゆえに、得られた結果が直接的に患者さまの利益につながる情報とは考えにくいいため、結果をこちらからお伝えしたり、遺伝子カウンセリングを実施することは原則的にありません。もし、ご協力いただいた本人様が、解析結果の開示をご希望の際は、下記の連絡先にて対応いたします。

⑦研究へのご協力の意思の確認と、同意後の撤回について

今回の研究は皆様の意志がなくては出来ません。研究の目的、安全性、人権擁護に関してご理解を得たことを確認した上で行われるべきものです。この研究に対する同意は皆様の自由意思によってなされるものです。研究協力することに同意しなくても何ら不利益を受けません。

もし、同意が得られた後でも、何らかの理由でご協力を拒否されても結構です。その際には採取させていただいた血液、肺胞洗浄液は用いることなく廃棄いたします。

⑧研究場所および研究者

本研究の一部は、製薬会社(小野薬品)との共同で行われます。研究場所は、筑波大学の免疫学・呼吸器内科・遺伝医学です。当該施設に所属する研究者(教授・准教授・講師・助教・大学院生)、および共同研究する製薬会社(小野薬品)の研究者により実施されます。

⑨本研究に関するお問い合わせ、本研究への利用お断りの連絡先

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人間総合科学研究科(呼吸器内科) TEL/FAX: 029-853-3144